

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公表番号】特表2001-506392(P2001-506392A)

【公表日】平成13年5月15日(2001.5.15)

【出願番号】特願平11-523544

【国際特許分類】

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

B 4 2 D 15/10 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 N

B 4 2 D 15/10 5 2 1

G 0 6 K 19/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月9日(2005.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17 年 9 月 9 日

特許庁長官 殿

適

1 事件の表示

平成 11 年 特許願第 523544 号

2 補正をする者

住所 オランダ国 5621 ベーアー アインドーフェン
 フルーネヴァウツウェッハ 1

名称 ヨーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス
 エヌ ヴィ

3 代理人

住所 〒108-8507 東京都港区港南 2 丁目 13 番 37 号
 フィリップスビル
 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン内

氏名 (8778)弁理士 津軽 進
 電話 03-3740-5019



4 補正対象書類名

明細書

5 補正対象項目名

(1) 明細書

(2) 請求の範囲

6 補正の内容

(1) 明細書第 1 頁第 24 行乃至第 29 行の「前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信され前記第 1 のデータ入力手段に印加されるデータを転送するように構成され、前記コンタクトレスモードにおいて受信され前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に印加されるデータを転送するように構成され、且つ前記データ入力手段の一方からの受信データを当該データ入力手段の他方に転送することを禁止するように構成されるデータ転送手段」を「前記コンタクトーバウ



ンドモードにおいて受信され前記第1のデータ入力手段に印加されるデータを前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に転送するように構成され、前記コンタクトレスモードにおいて受信され前記第2のデータ入力手段に印加されるデータを前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に転送するように構成され、且つ前記第1及び第2のデータ入力手段の一方から当該データ入力手段の他方への受信データの転送を禁止するように構成されるデータ転送手段」と補正する。

(2) 明細書第2頁第17行乃至第23行の「前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信され前記第1のデータ入力手段に印加されるデータを転送するように構成され、前記コンタクトレスモードにおいて受信され前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に印加されるデータを転送するように構成され、且つ前記データ入力手段の一方からの受信データを当該データ入力手段の他方に転送することを禁止するように構成されるデータ転送手段」を「前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信され前記第1のデータ入力手段に印加されるデータを前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に転送するように構成され、前記コンタクトレスモードにおいて受信され前記第2のデータ入力手段に印加されるデータを前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に転送するように構成され、且つ前記第1及び第2のデータ入力手段の一方から当該データ入力手段の他方への受信データの転送を禁止するように構成されるデータ転送手段」と補正する。

(3) 明細書第10頁第4行の「データ入力手段28から或いは」を「データ入力手段28又は29から」と補正する。

(4) 請求の範囲を別紙の通り補正する。

(別紙)

請求の範囲

1. コンタクトーバウンドモード及びコンタクトレスモードで操作され得るデータキャリアであって、以下に明記される手段、即ち、

前記コンタクトーバウンドモードにおいてデータを受信し得る且つ該コンタクトーバウンドモードにおいて受信されるデータを供給するためのコンタクトーバウンドデータ出力手段を含む、コンタクトーバウンドインターフェース手段と、

前記コンタクトレスモードにおいてデータを受信し得る且つ該コンタクトレスモードにおいて受信されるデータを供給するためのコンタクトレスデータ出力手段を含む、コンタクトレスインターフェース手段と、

前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信されるデータ及び前記コンタクトレスモードにおいて受信されるデータを受信するためのデータ入力手段を含み且つ前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信された該データ及び前記コンタクトレスモードにおいて受信された該データを処理し得るデータ処理手段と、

第1のデータ入力手段、第2のデータ入力手段及びデータ出力手段を含み、該第1のデータ入力手段が前記コンタクトーバウンドインターフェース手段の前記コンタクトーバウンドデータ出力手段に接続され、該第2のデータ入力手段が前記コンタクトレスインターフェース手段の前記コンタクトレスデータ出力手段に接続され、該データ出力手段が前記データ処理手段の前記データ入力手段に接続されるデータ転送手段であって、前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信され前記第1のデータ入力手段に印加されるデータを前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に転送するように構成され、前記コンタクトレスモードにおいて受信され前記第2のデータ入力手段に印加されるデータを前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に転送するように構成され、且つ前記第1及び第2のデータ入力手段の一方から当該データ入力手段の他方への受信データの転送を禁止するように構成されるデータ転送手段と、

を含むデータキャリアにおいて、

前記データ転送手段は、論理OR関数を実行するように構成され、前記データ転送手段は、この構成と整合して、前記第1のデータ入力手段及び前記第2のデータ入力手段において同時に受信されたデータを前記データ出力手段に且つ結果として前記データ処理手段に同時に転送するようになっていることを特徴とするデータキャリア。

2. 請求項1に記載のデータキャリアにおいて、

前記データ転送手段は、ORゲートによって形成されることを特徴とするデータキャリア。

3. 請求項1に記載のデータキャリアにおいて、

前記データ処理手段は、前記コンタクトーバウンドモード及び前記コンタクトレスモードにおいて出力されるべきデータの出力のためのデータ出力手段を含み、

前記コンタクトーバウンドインターフェース手段は、前記コンタクトーバウンドモードにおいて出力されるべきデータを受信するためのコンタクトーバウンドデータ入力手段を含み、

前記コンタクトレスインターフェース手段は、前記コンタクトレスモードにおいて出力されるべきデータを受信するためのコンタクトレスデータ入力手段を含み、

前記データ処理手段の前記データ出力手段、前記コンタクトーバウンドインターフェース手段の前記コンタクトーバウンドデータ入力手段及び前記コンタクトレスインターフェース手段の前記コンタクトレスデータ入力手段は、互いに電気的に接続されることを特徴とするデータキャリア。

4. 請求項1に記載のデータキャリアにおいて、

前記コンタクトーバウンドモードが活性でない場合、前記コンタクトーバウンドインターフェース手段の前記コンタクトーバウンドデータ出力手段を論理ゼロに対応する状態に設定する手段が設けられ、

前記コンタクトレスモードが活性でない場合、前記コンタクトレスインターフェース手段の前記コンタクトレスデータ出力手段を同様に論理ゼロに対応す

る状態に設定する更なる手段が設けられることを特徴とするデータキャリア。

5. 請求項1に記載のデータキャリアにおいて、

前記コンタクトーバウンドモード及び前記コンタクトレスモードの両者が活性化されたことを検出することができ、該コンタクトーバウンドモード及び該コンタクトレスモードの両者が活性化されたという事態を検出すると、前記データ処理手段に前記データ入力手段を介して印加されるデータの該データ処理手段による処理を禁止させ得る検出手段が設けられることを特徴とするデータキャリア。

6. 請求項5に記載のデータキャリアにおいて、

前記検出手段は、前記コンタクトーバウンドモードが活性化される場合に現れるコンタクトーバウンドクロック信号の存在の検出と、前記コンタクトレスモードが活性化される場合に現れるコンタクトレスクロック信号の存在の検出とを可能にするクロック信号検出手段によって形成されることを特徴とするデータキャリア。

7. コンタクトーバウンドモード及びコンタクトレスモードで操作され得る、データキャリア用の回路であって、以下に明記される手段、即ち、

前記コンタクトーバウンドモードにおいてデータを受信し得る且つ該コンタクトーバウンドモードにおいて受信されるデータを供給するためのコンタクトーバウンドデータ出力手段を含む、コンタクトーバウンドインターフェース手段と、

前記コンタクトレスモードにおいてデータを受信し得る且つ該コンタクトレスモードにおいて受信されるデータを供給するためのコンタクトレスデータ出力手段を含む、コンタクトレスインターフェース手段と、

前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信されるデータ及び前記コンタクトレスモードにおいて受信されるデータを受信するためのデータ入力手段を含み且つ前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信された該データ及び前記コンタクトレスモードにおいて受信された該データを処理し得るデータ処理手段と、

第1のデータ入力手段、第2のデータ入力手段及びデータ出力手段を含み、

該第1のデータ入力手段が前記コンタクトーバウンドインターフェース手段の前記コンタクトーバウンドデータ出力手段に接続され、該第2のデータ入力手段が前記コンタクトレスインターフェース手段の前記コンタクトレスデータ出力手段に接続され、該データ出力手段が前記データ処理手段の前記データ入力手段に接続されるデータ転送手段であって、前記コンタクトーバウンドモードにおいて受信され前記第1のデータ入力手段に印加されるデータを前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に転送するように構成され、前記コンタクトレスモードにおいて受信され前記第2のデータ入力手段に印加されるデータを前記データ出力手段を介して前記データ処理手段に転送するように構成され、且つ前記第1及び第2のデータ入力手段の一方から当該データ入力手段の他方への受信データの転送を禁止するように構成されるデータ転送手段と、を含む回路において、

前記データ転送手段は、論理OR関数を実行するように構成され、前記データ転送手段は、この構成と整合して、前記第1のデータ入力手段及び前記第2のデータ入力手段において同時に受信されたデータを前記データ出力手段に且つ結果として前記データ処理手段に同時に転送するようになっていることを特徴とする回路。

8. 請求項7に記載の回路において、

前記データ転送手段は、ORゲートによって形成されることを特徴とする回路。

9. 請求項7に記載の回路において、

前記データ処理手段は、前記コンタクトーバウンドモード及び前記コンタクトレスモードにおいて出力されるべきデータの出力のためのデータ出力手段を含み、

前記コンタクトーバウンドインターフェース手段は、前記コンタクトーバウンドモードにおいて出力されるべきデータを受信するためのコンタクトーバウンドデータ入力手段を含み、

前記コンタクトレスインターフェース手段は、前記コンタクトレスモードにおいて出力されるべきデータを受信するためのコンタクトレスデータ入力手段

を含み、

前記データ処理手段の前記データ出力手段、前記コンタクトーバウンドインターフェース手段の前記コンタクトーバウンドデータ入力手段及び前記コンタクトレスインターフェース手段の前記コンタクトレスデータ入力手段は、互いに電気的に接続されることを特徴とする回路。

10. 請求項7に記載の回路において、

前記コンタクトーバウンドモードが活性でない場合、前記コンタクトーバウンドインターフェース手段の前記コンタクトーバウンドデータ出力手段を論理ゼロに対応する状態に設定する手段が設けられ、

前記コンタクトレスモードが活性でない場合、前記コンタクトレスインターフェース手段の前記コンタクトレスデータ出力手段を同様に論理ゼロに対応する状態に設定する更なる手段が設けられることを特徴とする回路。

11. 請求項7に記載の回路において、

前記コンタクトーバウンドモード及び前記コンタクトレスモードの両者が活性化されたことを検出することができ、該コンタクトーバウンドモード及び該コンタクトレスモードの両者が活性化されたという事態を検出すると、前記データ処理手段に前記データ入力手段を介して印加されるデータの該データ処理手段による処理を禁止させ得る検出手段が設けられることを特徴とする回路。

12. 請求項11に記載の回路において、

前記検出手段は、前記コンタクトーバウンドモードが活性化される場合に現れるコンタクトーバウンドロック信号の存在の検出と、前記コンタクトレスモードが活性化される場合に現れるコンタクトレスロック信号の存在の検出とを可能にするロック信号検出手段によって形成されることを特徴とする回路。